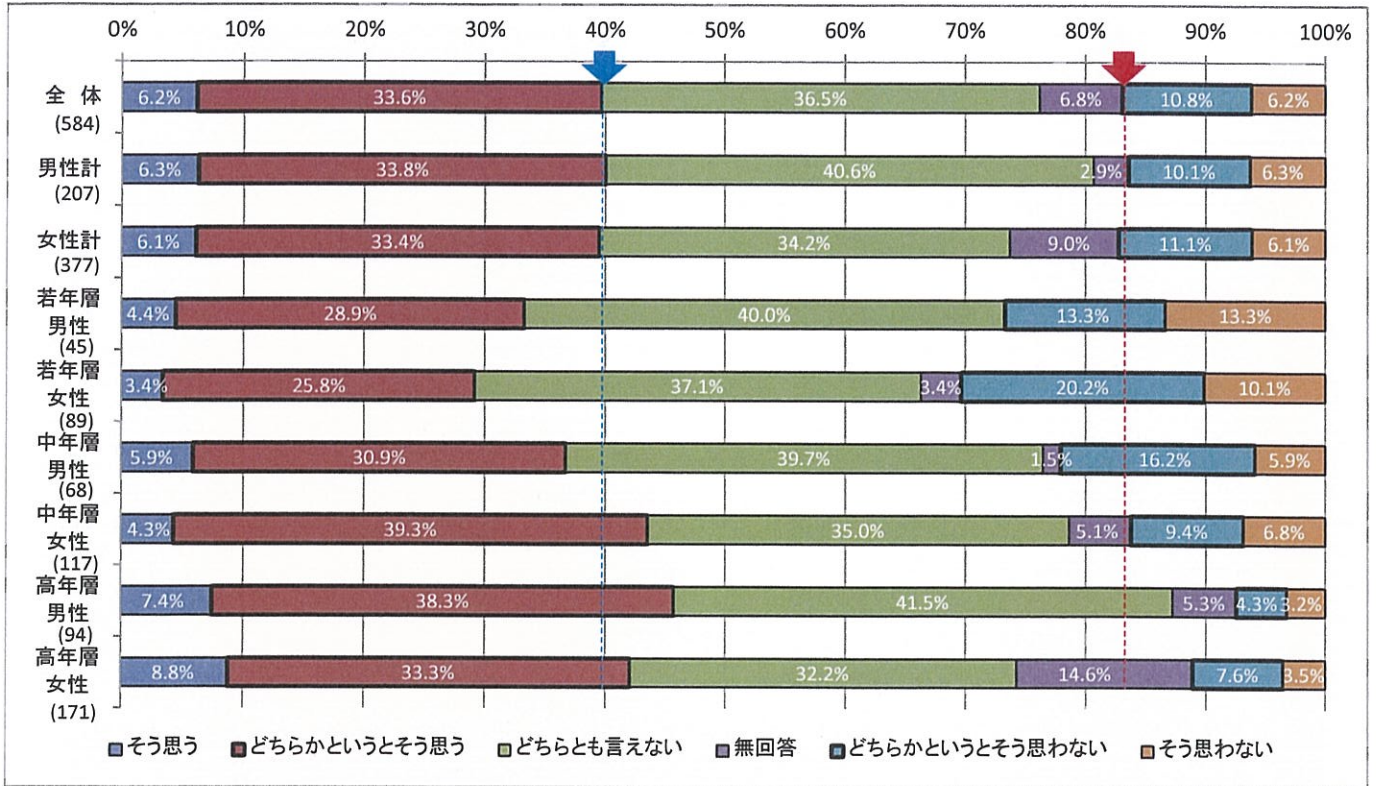


26 消防・防災

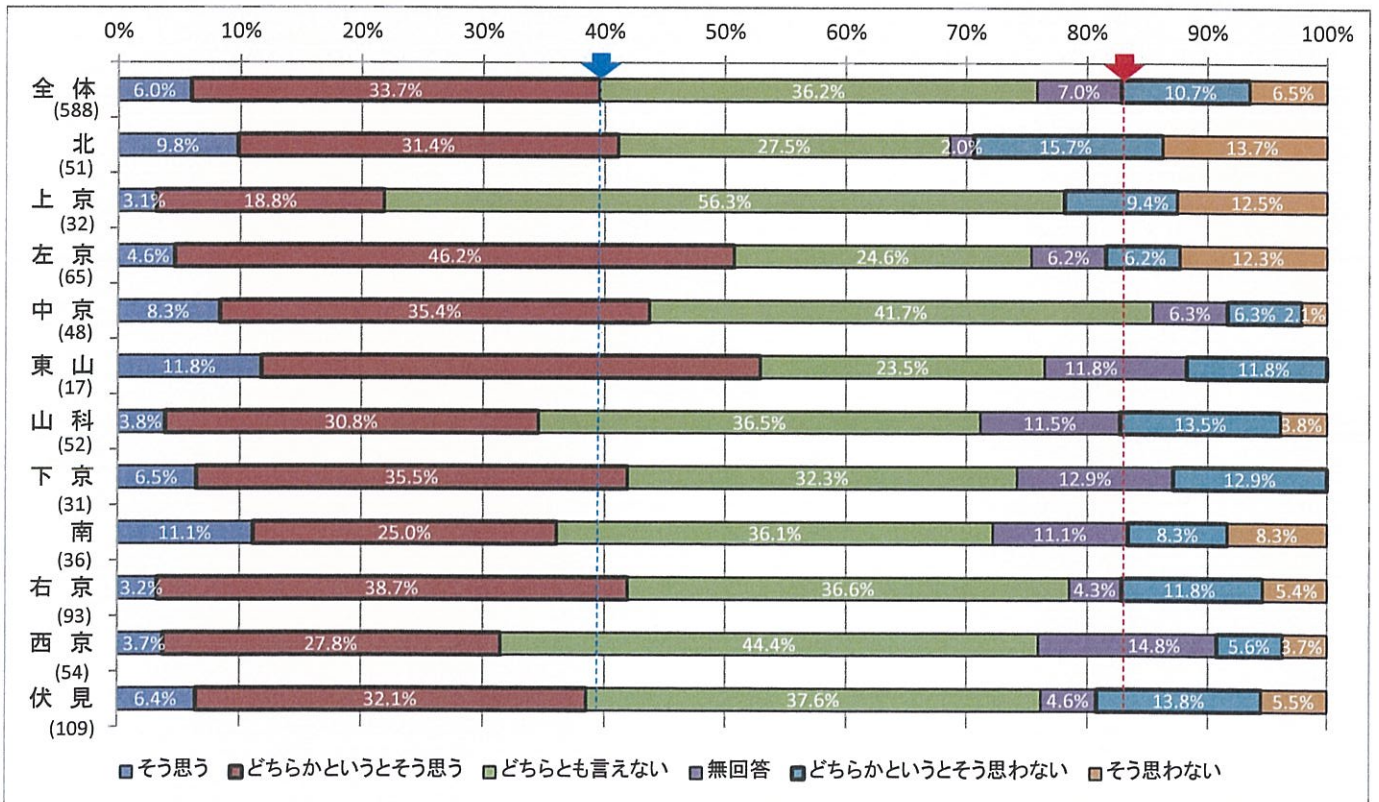
- 120 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。
- 121 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。
- 122 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。
- 123 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。
- 124 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。

120 身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

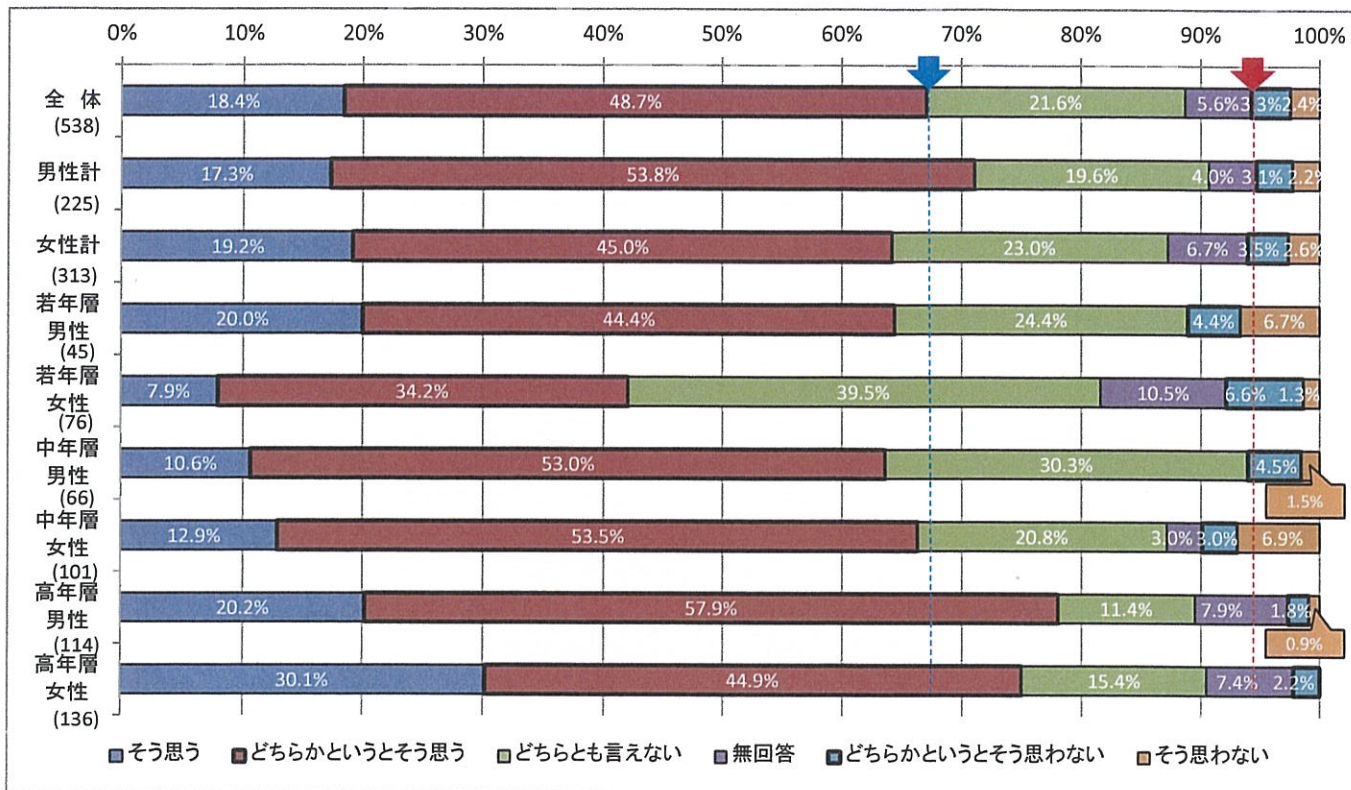


(3) コメント

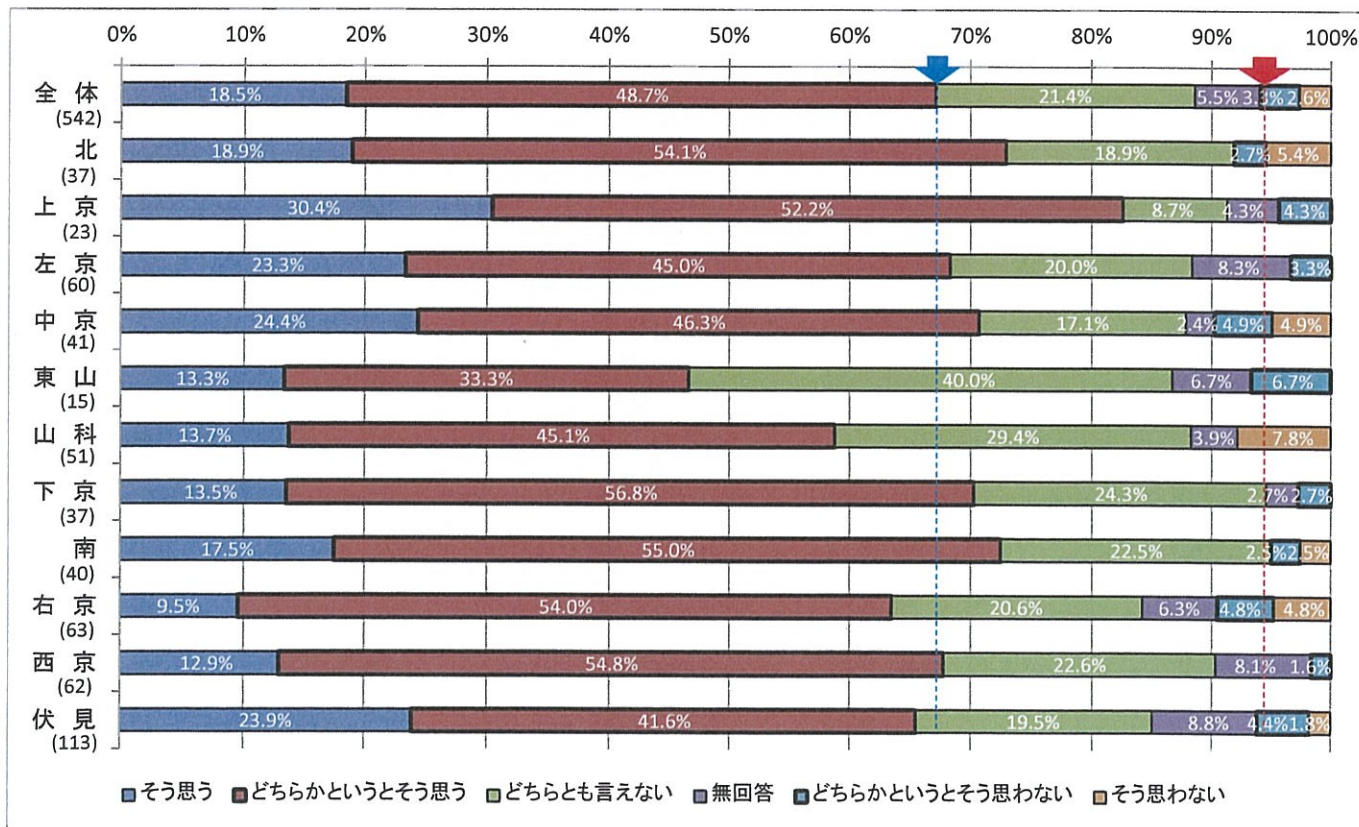
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層女性、若年層男性及び中年層男性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、東山区及び左京区において高かった。一方、否定的な回答の割合は、北区において高かった。

121 京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

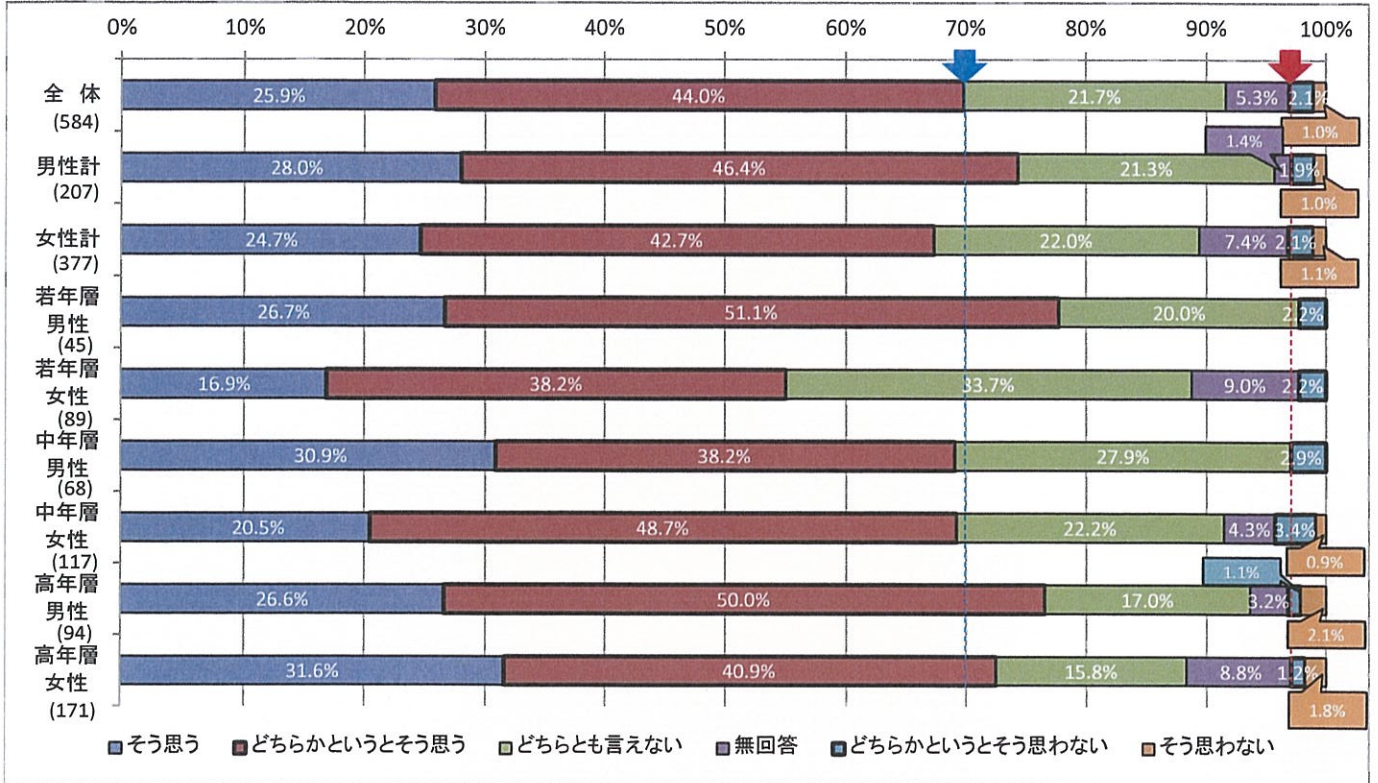


(3) コメント

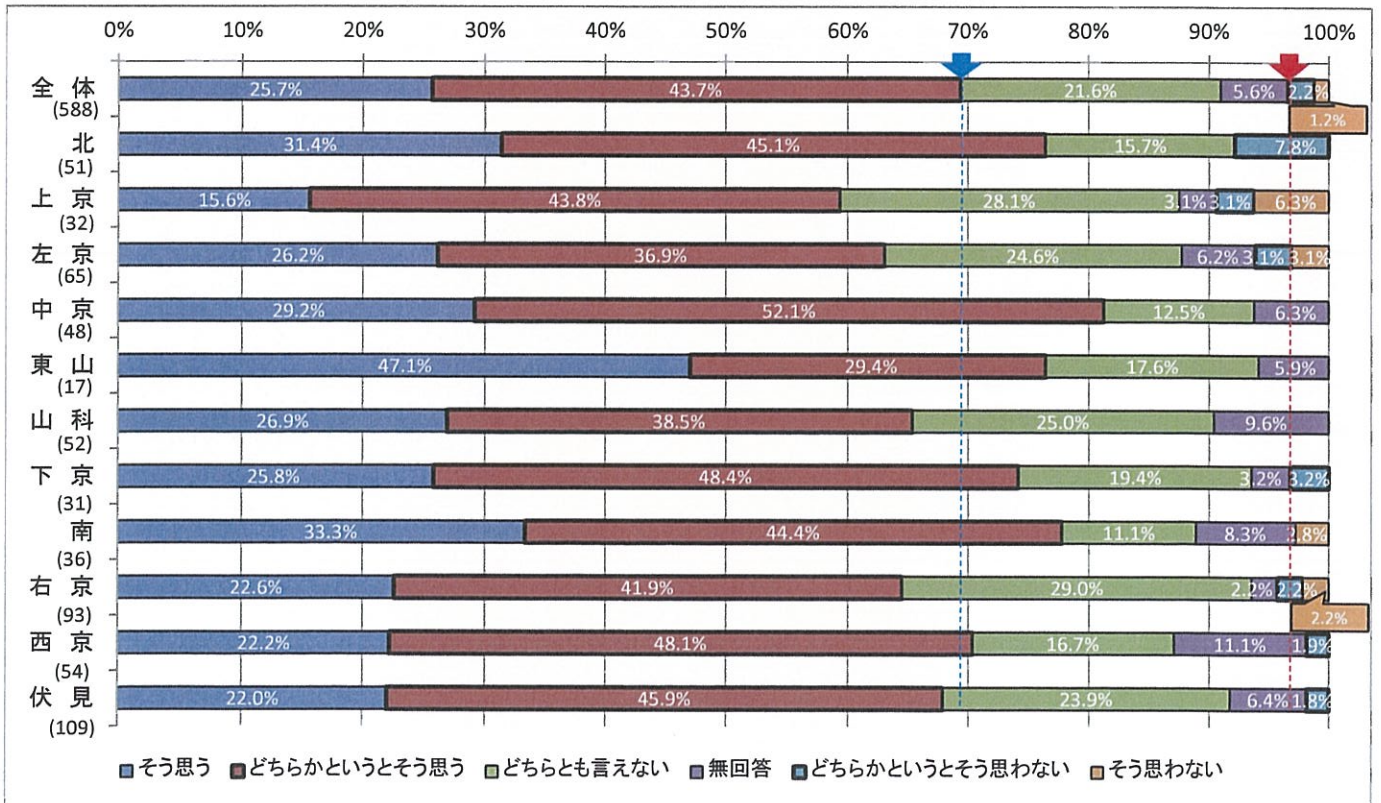
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が肯定的な回答の割合が高かった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層男性及び高年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、上京区、北区及び南区において高く、中でも上京区の数値は80%を超えた。一方、否定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。

122 消防署は、火災や事故などが発生した場合に適切に対応し、いざというときに頼りになる。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

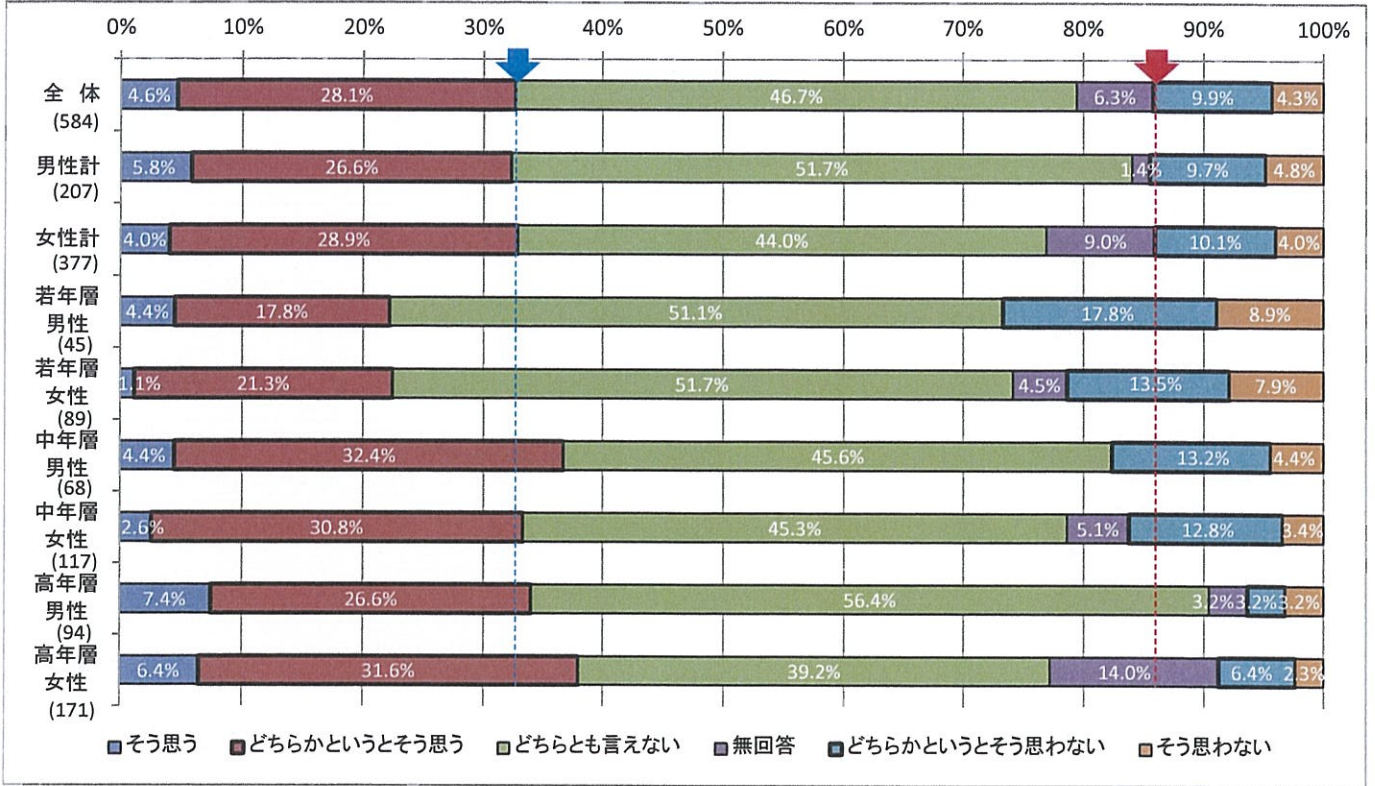


(3) コメント

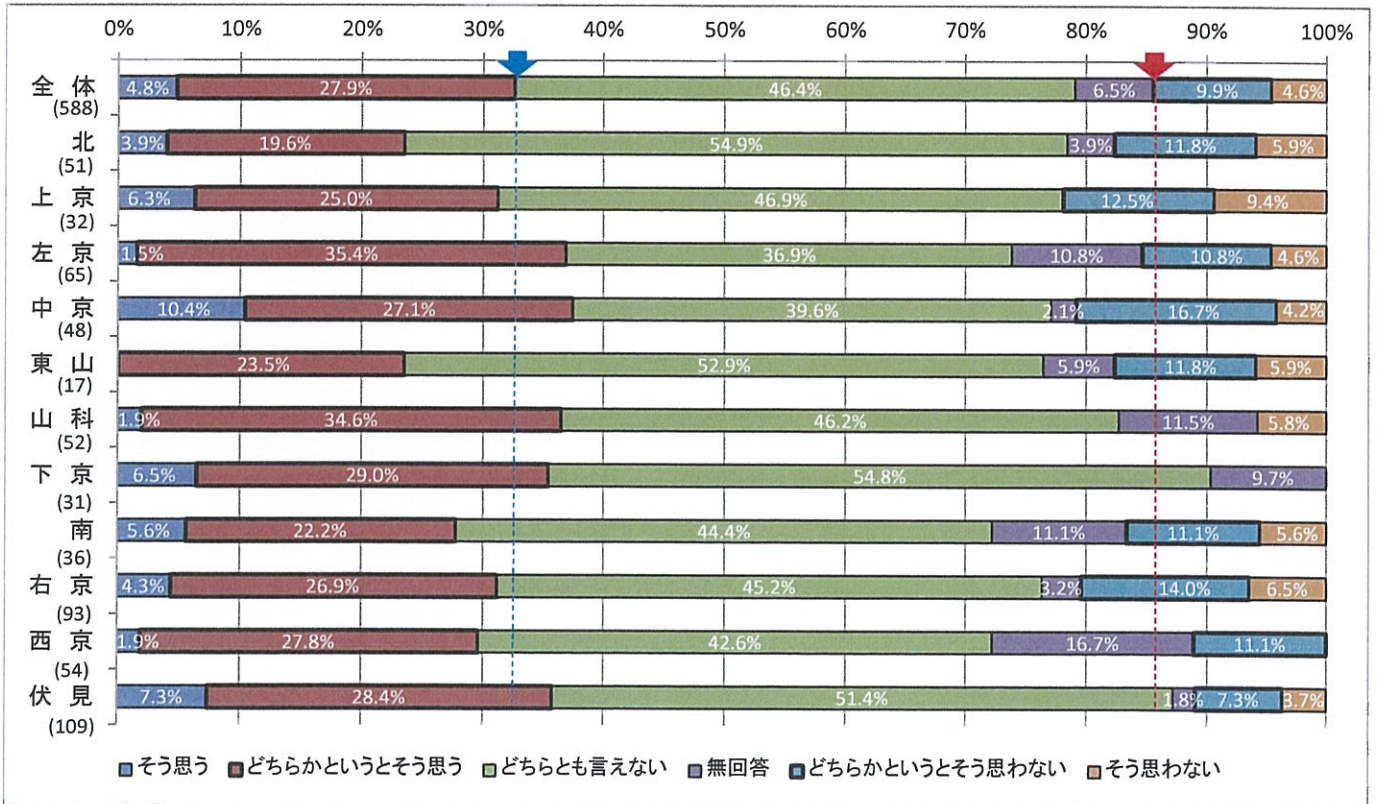
全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、男性の方が肯定的な回答の割合が高かった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、若年層男性及び高年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、中京区、南区、北区及び東山区において高く、中でも中京区の数値は80%を超えた。一方、否定的な回答の割合は、上京区において高かった。

123 応急手当の知識や技術を備えたひとが増えている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析

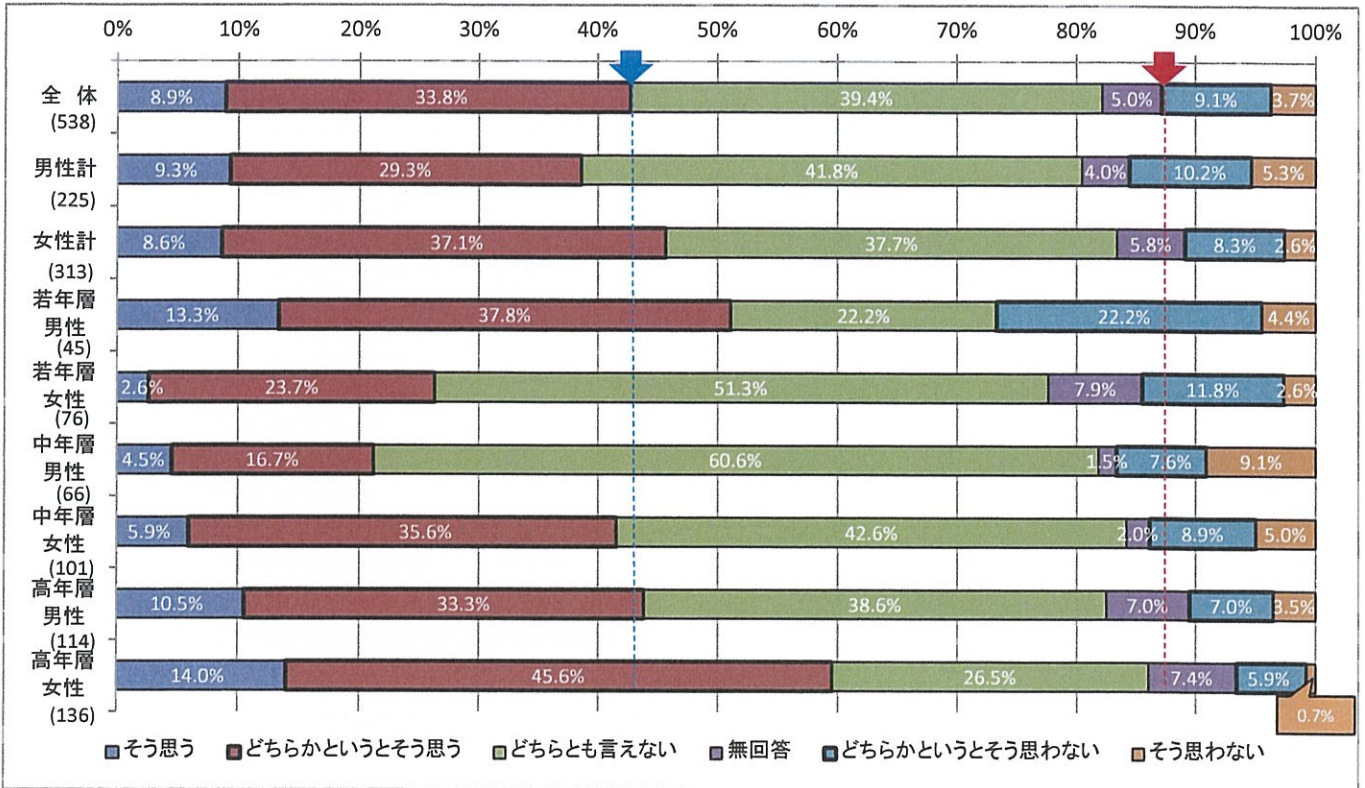


(3) コメント

全体的には、どちらとも言えないの回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、大きな差は見られなかった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層女性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性及び若年層女性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。一方、否定的な回答の割合は、上京区、中京区及び右京区において高かった。

124 防災意識の向上とともに、地域ぐるみの災害対応力が高まっている。

(1) 世代別・性別分析



(2) 居住区別分析



(3) コメント

全体的には、肯定的な回答の割合が最も高かった。また、男性と女性との比較では、女性の方が肯定的な回答の割合が高かった。
 世代別・性別を相対的にみると、肯定的な回答の割合は、高年層女性及び若年層男性において高かった。一方、否定的な回答の割合は、若年層男性において高かった。
 居住区別を相対的にみると、肯定的な回答の割合では、上京区、下京区、中京区及び北区において高かった。一方、否定的な回答の割合では、大きな差は見られなかった。